

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年7月12日（水）

2 確認箇所

遠隔操作室

3 確認項目

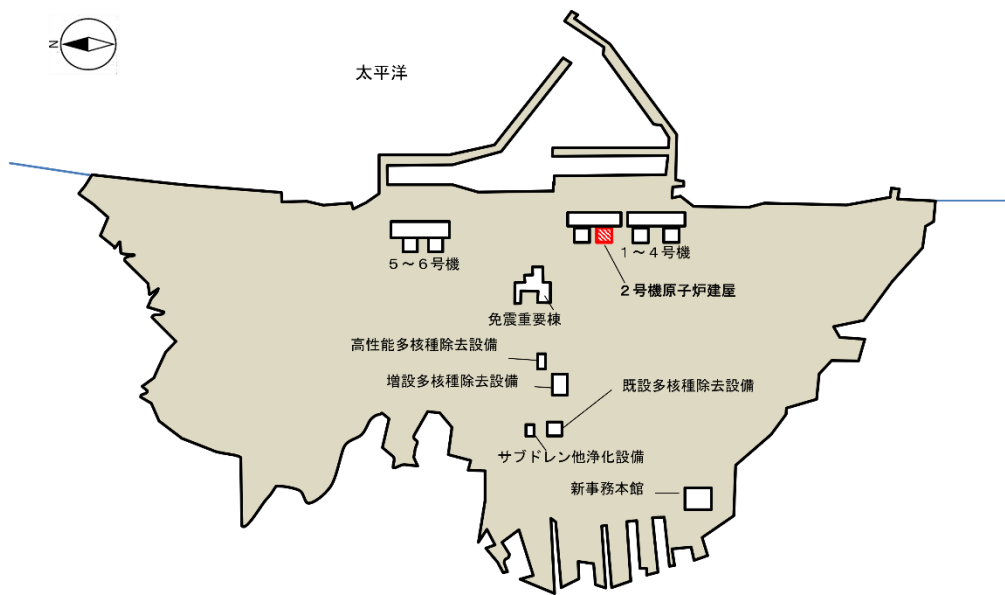
2号機原子炉建屋オペレーティングフロア除染の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災の際、2号機原子炉建屋は水素爆発を免れており、東京電力は、原子炉建屋の上部を撤去せず、原子炉建屋南側に構台を設置し、燃料取扱設備等を新しく設置して、使用済燃料プールから燃料を取り出すこととしている。令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度）の燃料取り出し開始を目指している。

現在、その準備作業として2号機原子炉建屋オペレーティングフロアで既設設備の撤去や線量低減作業が行われているため、本日は遠隔操作室にて、それらの作業の状況を確認した。（図1）

- ・2号機原子炉建屋では、高所除染台車を用いた壁面の除染が行われており、遠隔操作室では、装置操作担当者10名ほどが装置ごとの班に分かれ、高所除染台車、遠隔操作重機、遠隔ロボットを操作していた。（写真1）
- ・装置操作担当者とは別に全体の監督者がおり、画面を見ながら作業を監督していた。
- ・装置操作担当者は、一つの装置につき複数の画面を使い、複数のカメラで各装置の位置や状況等を確認しつつ、作業を進めていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
遠隔操作室における作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。